



みんなの議会 おおさと

定例会



町花：つつじ

令和6年11月1日

No. 216



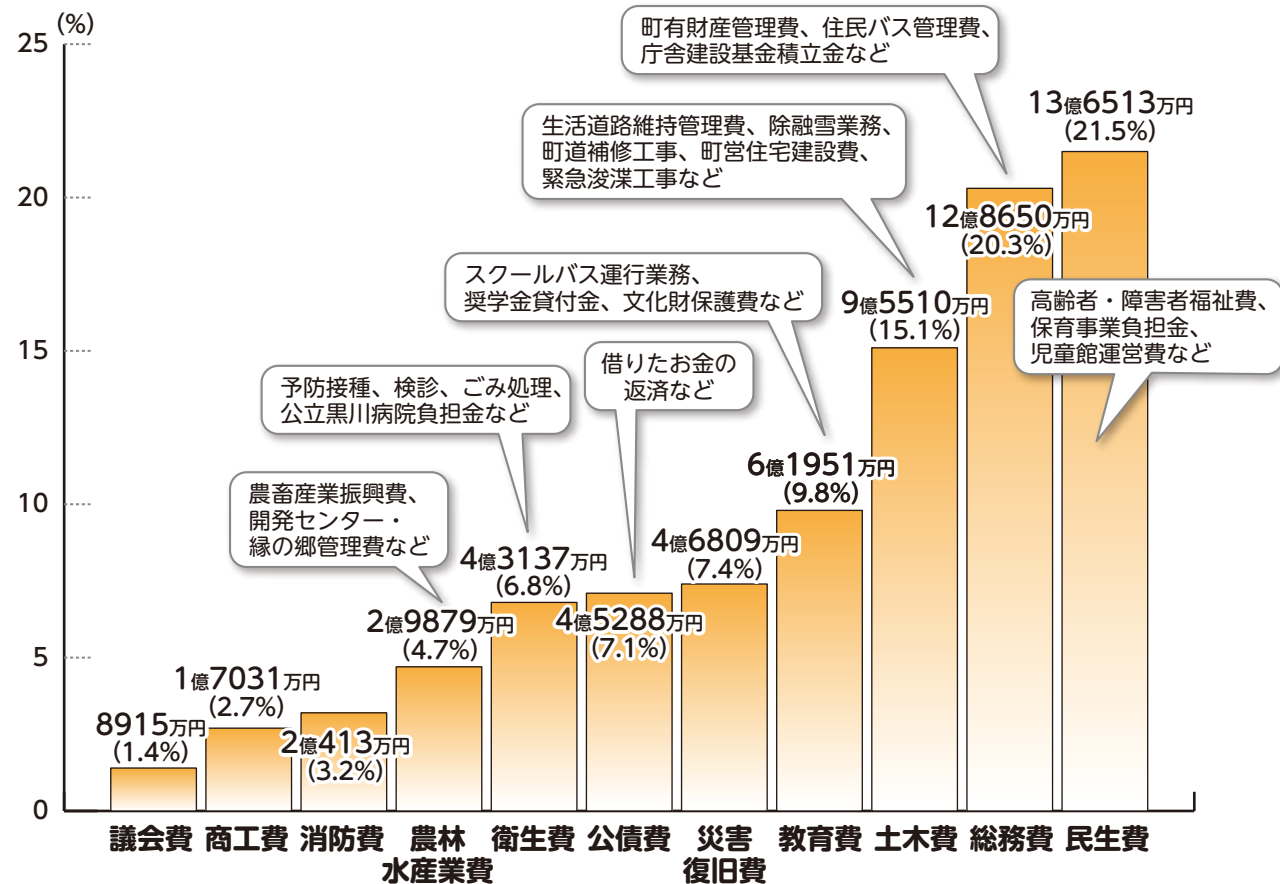
ヨーシ!!
出番♡

スポーツフェスティバル（こども園）

令和5年度 一般会計 決算

災害復旧・復興に

令和5年度一般会計の決算は、歳入は前年度より7億3147万円増、歳出は前年度より8億9199万円増となり歳入歳出とも前年度を上回っている。また、歳入歳出差引額は6億4681万円であった。



一般会計 歳出 63億4101万円
(翌年度繰越額9億7095万円)

●各種会計歳出決算額●

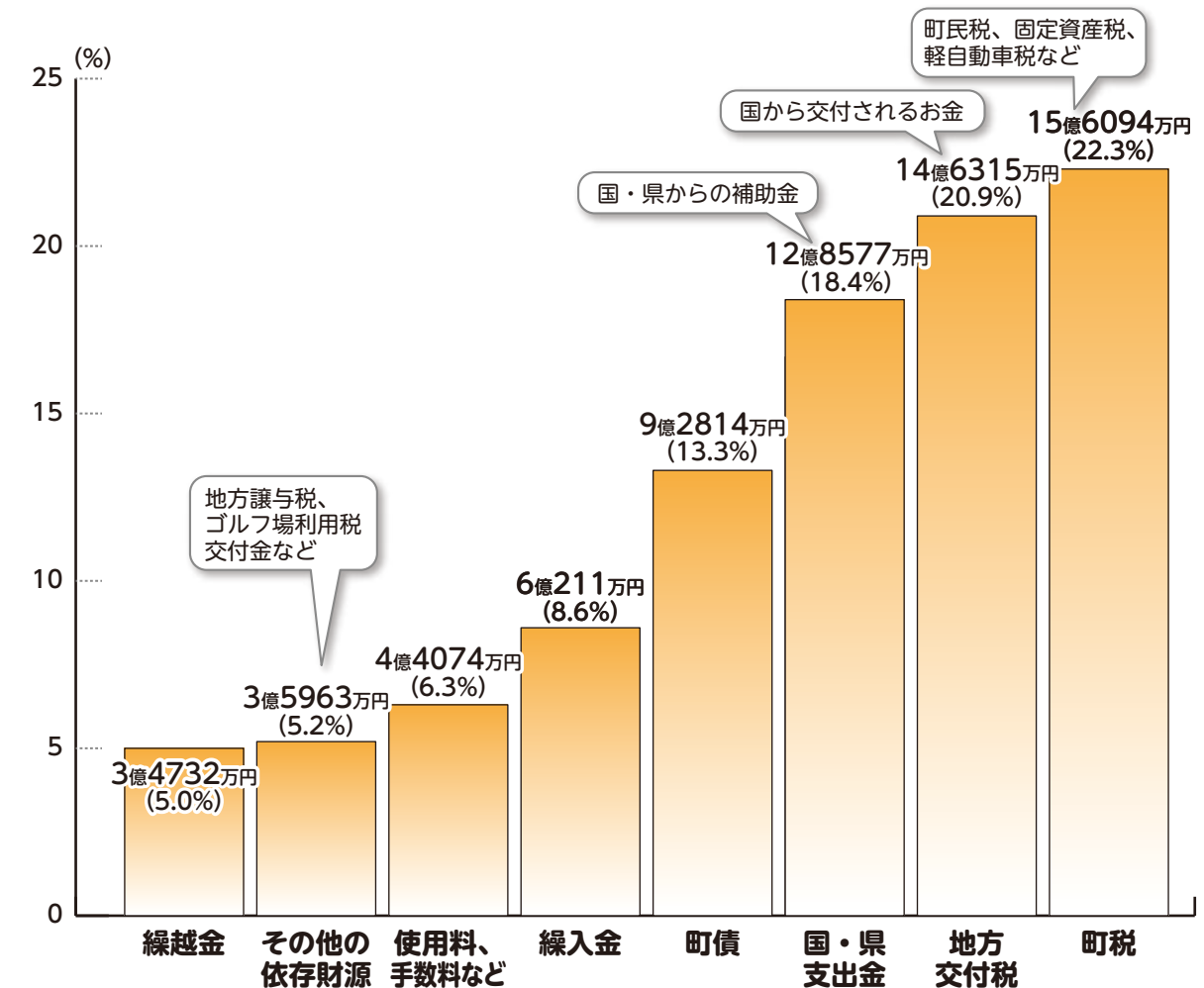
会計別	令和5年度決算
一般会計	63億4101万円
特別会計	
国民健康保険	9億5477万円
介護保険	11億2310万円
後期高齢者医療	9550万円
下水道事業	2億460万円
農業集落排水事業	4288万円
戸別合併処理浄化槽	6880万円
宅地分譲事業	2850万円
水道	
収益的収支	2億4580万円
資本的収支	2億860万円
合計	93億1358万円

※1万円未満は四捨五入

主な事業

- 復興まちづくり事業 4億2532万円
- こども園、小・中学校バス運行経費 5750万円
- 小・中学校、保育園など給食費無償化補助金 3600万円
- すこやか子育て医療費助成 3298万円
- 強い農業・担い手づくり総合支援交付金 (多面的機能活動組織交付金など) 7697万円
- 急傾斜地崩壊対策事業 7841万円
- 生活応援商品券発行事業 1億409万円
- 価格高騰緊急支援給付金事業 1億848万円

(復興まちづくり事業)



一般会計 歳入 69億8782万円

依存財源

国・県・借入金に頼ったお金

40億3670万円

自主財源

町自らが収納・徴収できるお金

29億5112万円

町民1人当たりの預金と借金

借金

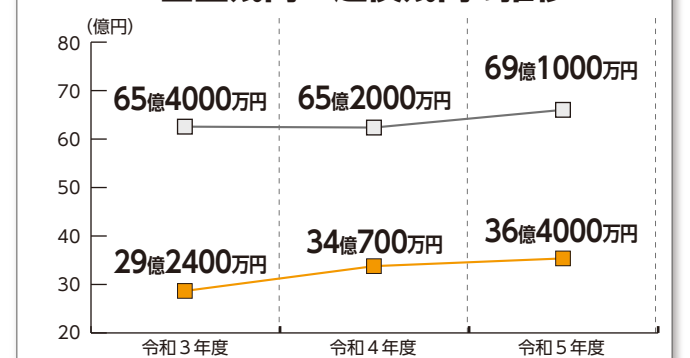
80万9千円

預金

48万9千円

預金は各種基金、借金は町債としています。
令和5年度末の人口で算出しています。

基金残高・起債残高の推移



■基金残高 □起債残高 (水道事業会計を除く)

令和6年第3回定例会は、9月4日から20日までの17日間の会期で開かれた。令和5年度決算を審議し、一般会計、7つの特別会計および水道事業を含む、総額93億円の決算を認定した。(採決結果一覧はP8、P12に掲載)

一般会計・特別会計・事業会計予算 徹底検証

令和5年度の決算を審査するため、特別委員会を設置し、7日間にわたり各課ごとに質疑応答を行い、慎重審議・検証しました。

本会議では委員会審査報告の後、一般会計および各種会計を認定しました。



熱海 文義 委員長

安全・安心な生活環境を

かわまちづくり事業

問 中長期の計画はどうなっているのか。

答 国の対応が先行し、工事の実施に向けて設計対応中。早ければ今年度末あたりから工事に着手する可能性がある。



▶町の活性化を図る

危険ブロック塀

問 ブロック塀を除去するときの補助限度額を上げる必要があるのでは。

答 補助金額は、今年度からは1㎡あたり1万円、上限18万7千円としている。補助限度額のアップについては、今後、検討していきたい。

新庁舎建設

問 どのような方針か。

答 役場内の検討委員会での意見のとりまとめを行っている。候補地は、町の中心部で検討している。

旧大松沢診療所跡地

問 今後の利用について、どのように考えているのか。

答 近郊の土地価格を参考に公売を考えている。

防犯灯

問 14カ所に新設置されたが、行政区からの要望はあったのか。

答 各区から要望をいただいた。その分についての設置は全て完了している。

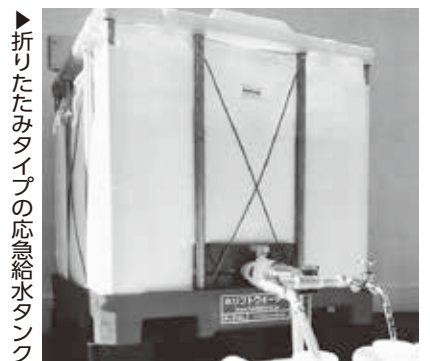


▲夜間の住民の安全を確保

防災対策備品

問 どのような物を購入したのか。

答 ホリフトウォーター（1kℓ水槽）を4基購入した。給水車から水を分けて移すことが可能。



▶折りたたみタイプの応急給水タンク

道の駅西側駐車場

問 駐車スペースを確保するために、拡張する考えは。

答 フリーマーケットが盛況であり、フラップ大郷21でイベントがあると駐車場が足りないとの話も伺っている。今後の検討としたい。

町民体育館

問 今後の見通しは。

答 施設の個別整備計画では、令和7年を目安に解体予定としている。解体の時期については、利用している団体もあるため、慎重に検討している。

生活の利便性向上を

スクールバス

問 利用者へのアンケートを実施していただきたい。

答 後回しとなっていた。前向きに検討していきたい。

奨学資金貸与

問 奨学金を借りている学生が卒業後に町内に住所を置いて働く場合、返済期間を延長するなどの支援を行っているか。

答 県内自治体の様々な良い事例について情報収集を行い、どうすれば優秀な人材が町に帰ってくるか視野に入れながら、制度設計できればと思う。

特殊詐欺被害防止機能付き電話機

問 購入の補助については、ラン等で周知を行っているか。

答 年々振込詐欺等が増加しているの、そういった形で広報周知を検討していきたい。



▲被害を未然に防ぐ

出産祝金

問 現行では1人目1万円を支給している。10万円に増額を。

答 前向きに検討する。

黒川病院

問 婦人科の医師が不在である。

答 今後、医師の早急な配置を要望していく。

図書館

問 図書購入予算を増額したほうがよいのでは。

答 町として予算の増額を要望していきたい。



▲知識は力なり

在宅福祉（配食サービス）

問 物価高騰の影響は。

答 一食650円を自己負担250円で提供している。現在、負担額を上げることには考えていない。

敬老会

問 内容の見直しを検討してみているのか。

答 地区ごとの開催等を含めて今後検討する。



▶町内の敬老者は1706人

町当局へ21項目の意見を提言

改善 職員の増員と適正配置を

職員の増員と適正な配置に努められたい。

問 職員の時間外勤務が多い。職員数は充足しているのか。対策は。

答 大学生・高校生を対象に情報発信を強化していく。

強化 税の収納率向上を

税のさらなる収納率向上に努められたい。

問 納税催告の内訳は。

答 令和5年度文書催告763件、電話催告1,743件、訪問63件である。

強化 有害鳥獣対策の強化を

有害鳥獣対策事業の拡大と、さらなる強化を図られたい。

問 わな猟免許助成が1件しかなかったが。

答 補助金活用のPRを強化し、資格者を増やすことで対策を推進していく。

改善 物産館2階の有効活用

物産館2階の有効活用を図られたい。

問 2階和室部分にテナントを募集しては。

答 建物の修繕を含め公社と相談し、検討していく。



▲物産館2階和室

推進 ふれあい号の運行を

ふれあい号利用者の利便性を考慮した運行を図られたい。

問 活用できる回数を増やせないか。

答 現状活用限度を超えている利用者は少ない。

強化 検診受診率の向上

各種検診のさらなる受診率向上に努められたい。

問 近隣市町村と比較するとどうなっているか。

答 黒川地域の中では、一番低い状況である。

改善 効果的なバスの運行を

通園バス・スクールバス運行の見直しを検討されたい。

問 通園バスの利用状況は。

答 136名中79名が利用登録している。保護者の要望に沿い、調整していく。

強化 危険ブロック塀の解消

危険ブロック塀の早期解消に努められたい。

問 通学路の危険ブロック塀は。

答 通学路内254mが残っている。

改善 ふれあい農園の管理運営

ふれあい農園の管理運営について再検討されたい。

問 農園内が荒れている状況にあるが。

答 指定管理者と話し合いをして検討していく。

推進 独自のパッケージを

ふるさと応援寄付金の返礼品に、町独自のパッケージを検討されたい。

問 返礼品のパッケージを統一するはずだったのでは。

答 現状寄付金額が少ないので対応できないが、寄付金を増やす努力をし、統一できるよう取り組んでいく。

改善 住民の声を総合計画に

「総合計画」策定に住民の声をしっかりと反映されたい。

問 アンケート回答のあった433名の意見が無駄にならないようにしてほしい。

答 自由記述もたくさんいただいているので、計画に反映していく。

推進 企業誘致の推進を

企業誘致に向け環境整備を早急に図られたい。

問 企業用地計画など、先行した取り組みが必要では。

答 企業用地・住宅地として活用するのかを確認しながら計画を考えている。

改善 過年度返納金の早期解消を

おおさと地域振興公社の過年度返納金の早期解消に努められたい。

問 3千万円以上の預貯金がある。町に早期返還すべきでは。

答 売り上げは伸びているが令和5年度決算は赤字になっており、全体的な経営状況を見て計画に基づいて、返還していただいている。

強化 農業後継者に支援を

町独自の農業後継者に対する支援を強化されたい。

問 畜産農家の支援を強化すべきでは。

答 一時的な交付金の支援でなく、大郷牛の消費拡大を推進することが重要と考えている。



▲価格低迷、飼料高騰に悩む畜産農家

強化 団員・隊員確保に工夫を

消防団員と交通指導隊員の確保に努められたい。

問 消防団員と交通指導隊員の現状は。

答 新規隊員のなり手がいない。大幅な定員不足となっている。決定的な策はない。

推進 未登記事案の早期完了を

未登記事案の早期完了に向け引き続き努力されたい。

問 未処理案件の数は。

答 68件ある。今後も対応に努めていく。

推進 空き地・空き家対策

空き地・空き家対策について積極的に取り組まれたい。

問 専門職のチームを作り、対策を考えては。

答 司法書士等のチームで、協議会ができないか検討している。

住民投票条例案賛成少数で否決

問 最低得票率の規定が条例にはない。投票率が著しく低い場合でも住民の民意が反映されていると判断できるのか疑問。

答 町の主人公は町民。多くの町民はこの事業の将来性、町の必要性としてぜひやってほしいという声が多くなる。町民の意思を形で表す手段をとった。

問 過去にSSP関連予算が2度否決されている。これは議会軽視の何物でもないと考える。

答 本町がおかれている課題を議会の皆さんも本心に理解しているのか疑問。民主主義、それを分らないはずがない。本町議会を尊重してこの事業に取り組んでいく。

【議案第41号】
おおさとスマートスポーツパーク構想実施について町民の賛否を問う住民投票条例の制定について

SSP構想事業について町民の意思を確認することを目的。
賛成3 反対8で否決。

討論

反対
赤間 繁幸 議員
今回の住民投票は、安易な多数決によって、その住民の中に対立をうんでしまう。

賛成
鎌田 暁史 議員
SSP関連予算が2回否定された事実を町は、正面から受け止めるべきである。議決を無視して、住民投票を進めようとするのは議会軽視ではないか。

賛成
赤間 則幸 議員
町民の熱い思いを何としてでも形にする必要がある。住民投票条例を制定したい。

賛成
金須 新一 議員
議会が判断した結果と住民の考えに乖離がある。住民投票を実施し、民意を問うことが必要。

- 議案第42号** 包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例及び大郷町指定介護予防支援などの事業の人員及び運営並びに指定介護予防等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第43号** 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

法改正に伴う
条例の一部改正

- 議案第44号** コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
「管理の委託」を「施設の管理」に改め、また町長が指定する「指定管理者」に行わせることができることとする

- 議案第45号** すこやか子育て医療費の条例の一部改正について
- 議案第46号** 母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について
- 議案第47号** 障害者医療費の助成に関する条例の一部改正について
- 議案第48号** 国民健康保険条例の一部改正について

マイナンバー
法改正に伴う
条例の一部改正

- 委発第2号** 議会傍聴人規則の一部改正について

推進

水道事業会計

石綿セメント管の更新と漏水調査を早期に行い、有収率の向上に努められたい。

- 問** 有収率の目標値は。
- 答** 今後人工衛星を活用した、漏水調査を実施し100%達成を目指して取り組んでいく。

推進

下水道事業特別会計 農業集落排水事業特別会計 戸別合併処理浄化槽特別会計

引き続き加入促進を図り、水洗化率の向上に努められたい。

総括質疑

鎌田 暁史 議員

施策のバランスは

問 昨年度の施政方針では、交流人口の増加を目指す施策が目立っていた。議会では、宅地造成事業など短期的に効果を実感できる施策を求める声もあった。施策のバランスについて所感は。

答 短期的な事業にも、バランスよく対応できればと考える。民間の事業者と連携して宅地造成事業についても取り組んでいければと思っている。

認定第1号一般会計

反対討論 鎌田 暁史 議員

予算への指摘が反映されず

- 令和5年度の一般会計予算に対する反対討論で指摘された事項が盛り込まれないままで決算となるため認定には反対する。
- 以下を要望する。
- ① ふるさと応援寄附金を寄せて下さっている方々との交流について検討
- ② すこやか子育て医療費の助成について、子供の均等割について、当初から課税しない方式
- ③ 飼料高騰に直面している畜産農家の方々への支援強化

監査委員の意見（要約）

より効果的な事業推進を

一般会計

水道事業会計を除く他の会計において黒字決算となったが、依然として財政を取り巻く環境は厳しく予算を許さない。今後の財政運営にあたっては、物価高騰が常態化し先行きが不透明な経済情勢であるが、町民の負担に配慮未来ある大郷町に向けて、財政健全化を進めるとともに限りある財源を最大限に有効活用し積極的な事業推進を図られたい。

国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険各特別会計

保険給付費が増加している。各種検診や保険指導を推進するとともに、地域支援事業の推進を図られたい。

下水道・農業集落排水・戸別合併処理浄化槽各特別会計

公共水域の水質保全および町民の生活様式の改善のため、水洗化の促進に努められたい。

宅地分譲事業特別会計

事業については令和4年度をもって一旦終了。

水道事業会計

引き続き漏水調査と建設改良事業の推進により、安全・安心な給水を図られたい。

改善・要望

- ・振替休日の時間外勤務手当での清算が見えられ、事務体制を改善し健全な職場づくりを図られたい。
- ・収入未済金について、さらなる収納成果の向上を図られたい。
- ・令和5年度振興公社の過年度返納金については、引き続き早期解消に努められたい。
- ・消防団員と交通指導隊員の加入促進を図られたい。
- ・新公会計導入に向けた備品台帳等の整理を図られたい。
- ・住民バス・スクールバス・通園バスを一つの課に集約して、費用対効果の高いサービスを提供できるのではと思われる。
- ・ふるさと納税については、所管事務を見直し、より効果的な事業推進を図られたい。

議案採決結果一覧表

分類	議案名 (略称)	採決結果	赤間 繁幸	鎌田 暁史	鈴木 利博	赤間 則幸	佐々木 和夫	鈴木 恵子	金須 新一	田中 三恵子	熱海 文義	石垣 正博	高橋 重信	石川 良彦
決算認定	一般会計	63億4101万円	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険	9億5477万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険	11億2310万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	後期高齢者医療	9550万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	下水道事業	2億460万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業集落排水事業	4288万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽	6880万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	宅地分譲事業	2850万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	水道事業	①収益の支出：2億4580万円 ②資本的支出：2億860万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○：賛成 ●：反対 継続：継続審査 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長（石川良彦）は採決に加わらない。

SSP事業測量設計費5450万円可決

一般会計補正予算（第6号）は54,504千円を追加し、歳入歳出それぞれ6,339,998千円となりました。SSP関連予算は、可決済の復興まちづくり業務17,446千円、測量設計業務24,970千円と合わせて96,920千円となります。

原案反対

この事業での交流人口は80万人。道の駅の交流人口は60万人であるが、過疎化が進んでいる。この事業より小規模の宅地造成が人口減少を食い止める。

鈴木恵子 議員

鎌田 暁史 議員

今回の予算はこれまで議会で2回否定してきた。測量設計業務に関するものを分けて提出されたものであり、容認できるものではない。多額の予算を使わなくても、概算金額は算出できるのではないか。

原案賛成

2回も否決。①スポーツX社の経営に疑問。②総事業費の不透明化。今回の測量設計費が明確となり、事業を進めるのか、やめるのか、判断材料となる。

鈴木 利博 議員

討論

一般会計補正予算（第6号）

問 盛土60cmする場合、7億〜10億かかるが、1億円の融資もまだ立たない企業の負担は、かなり厳しいと考える。

答 検討段階であるが設計の後に詳細が分かり、資金の対応すると考えている。

賛成6 反対5により原案可決

修正案賛成

ラトリエに対して指定管理料を支払うように基本協定書を変更することは、これまでの説明との整合性がとれない。
指定管理料を支払う以外の他の方法はないのか、さるなる議論、検討が必要と考える。

鎌田 暁史 議員

討論

修正案賛成8 反対3により修正案可決

提案理由

サテライトオフィスの賃料は、「ラトリエ」に入る。すでにテレワーク事業に1億円以上を費やしており、これ以上は認められない。

修正動議発議者

鈴木 利博 議員
熱海 文義 議員

問 これ以上経費をかけないはずだったのでは。
答 補助事業であるので、止めるわけにはいかないの
で、緊急措置的をお願いする。

問 指定管理料の発生した経緯とその金額の根拠は。
答 令和8年度まで指定管理料はゼロ円の契約をして
いたが、経営圧迫とともにテレワーク施設の掛かり増
し経費分を9月以降の経費とし、計上。

一般会計補正予算（第5号）

〔一般会計補正予算（第5号）〕
主な質疑

町道の除融雪業務

問 前年より増額となっているが、
答 材料と人件費の高騰によるもの。

7318
万円

▲町道融雪剤散布

人工衛星を活用した
水道管の漏水調査365
万円

▲人工衛星による漏水調査

問 衛星からの漏水検査はどこまで調査できるのか。
答 AIで分析して半径100mの範囲まで絞り込んで調査する。

中学校の施設設備
改修工事188
万円

問 改修内容は。
答 中学校の給食用エレベーターの改修工事。

おおさと并当市補助金

17
万円

問 去年、并当の数量が足りなかったので、できれば増やしてほしい。
答 今後、この事業がどうあるべきか商工会
さんと改めて相談する。

中粕川コミュニティセンター
施設備品購入費1687
万円

問 何を購入するのか。
答 いす・テーブル・テレビ・冷蔵庫など。



▶おおさと并当市

▶建設中の防災コミュニティセンター

「縁の郷」新たな指定管理料を否決
修正案可決

縁の郷、新たな指定管理料350万円（9月から3月まで月額50万円）を削除し、192,504千円を追加、歳入歳出それぞれ6,285,494千円となりました。



いしがき まさひろ 議員
石垣 正博

水道事業の現況は

基本計画に基づき進める（町長）

問 高度経済成長期に水道普及率が急上昇した。当時の水道管・施設が更新時期を迎えている。しかし、地方自治体においては財政難により、費用の6割を占める水道管の更新が進んでいない。町では管路等の老朽化対策をどのような計画で実行するのか。

答 町長 将来にわたり、安全で持続的な水道事業を目指して、令和4年度に大郷町新水道ビジョンを策定。その計画実現のため、令和5年度に大郷町水道事業基本計画を策定している。今後は、これらの計画に基づき、優先度や安全性を考慮しながら、計画的に施設の更新や事業費の平準化を図っていく。

問 令和6年8月8日の新聞に、県内のダムの水質基準が見直しされると掲載された。工場排水などによる環境負荷は相当軽減されており、上流の森林から有機物が流れ込むなど、自然からの負荷が大部分である。よって、これまでの基準が高すぎたため、水質基準を下げるという。本町は大崎広域水道で、漆沢・南川ダムの水を利用しているが、水道基準を下げて影響はないのか。

答 町長 宮城県で定めている現行の水質基準が50年以上前に設定されていることから、より現実に即した基準となるよう検討を行う。本町では、宮城県環境審議会の動きを注視するとともに、これまでと同様に水質検査を実施し、引き続き良質で安全な水の確保に努めていく。

問 今年の元旦、能登半島地震で水道管の損傷が相次ぎ、広範囲で断水し、水道が復旧するまでに5ヶ月かった。液状化や地滑りなどが、

答 町長 本町の水道管路・施設等の耐震化の進捗状況は、令和5年度末で総延長17.2km。内耐震適合性のある管は、

延長17.1km（9.9%）となっている。水道施設については一部を除き、耐震診断を行っていない。大郷町水道ビジョンや大郷町水道事業基本計画に基づき、老朽化対策事業と合わせて、事業を進めていく。



▲（大松沢下町）水道管更新事業

議案採決結果一覧表

分類	議案名 (略称)	採決結果	赤間繁幸	鎌田暁史	鈴木利博	赤間則幸	佐々木和夫	鈴木恵子	金須新一	田中三恵子	熱海文義	石垣正博	高橋重信	石川良彦
報告	報告第10号 健全化判断比率について	報告のみ												
	報告第11号 資金不足比率について													
議案	議案第41号	否	●	●	●	○	●	●	○	○	●	●	●	-
	議案第42～44号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第45～48号	可	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
修正案	議案第49号	可	○	○	○	●	○	○	●	●	○	○	○	-
修正議決した部分を除く原案	議案第49号	一般会計（第5号） 62億8549万円（1億9250万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第50号 議案第51号 議案第52号	特別会計 国民健康保険（第1号） 介護保険（第1号） 後期高齢者医療（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第53号 議案第54号	水道事業会計（第1号） ①収益的支出：2億3837万円（951万円↑） ②資本的支出：1億463万円（1833万円↑） 下水道事業会計（第1号） ①収益的支出：3億7416万円（355万円↑） ②資本的支出：2億1540万円（2200万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第55号	一般会計（第6号） 63億4000万円（5450万円↑）	可	○	●	○	○	○	●	○	○	●	●	-
	委発第2号		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

（↑）は増額、（↓）は減額 可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長（石川良彦）は採決に加わらない。

次回 定例会

12月3日(火)から12月6日(金)まで
午前10時～
ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube（ユーチューブ）」にて、配信しています。右記のQRコードよりご覧になれます。



8名が町政を質す！

次ページから一般質問

質問議員	質問件名	掲載ページ
いしがき まさひろ 議員 石垣 正博	1. 水道事業の現状について	P.13
きす 金須 新一 議員	1. 水難事故防止の取り組みは	P.14
たなか みえこ 議員 田中三恵子	1. 災害時応急仮設住宅について 2. 空き家対策について 3. 認知症QRコードの活用について	P.15
かまだ あきふみ 議員 鎌田 暁史	1. スマートスポーツパーク構想について 2. 女川原発再稼働について 3. 男女共同参画社会の実現に向けて	P.16
ささき かずお 議員 佐々木和夫	1. 家庭ごみ対策について 2. 民間企業活用による宅地造成について	P.17
すずき けいこ 議員 鈴木 恵子	1. 酷暑対策について 2. ふるさと納税について	P.18
あかま しげゆき 議員 赤間 繁幸	1. 飼料価格の高騰や販売価格の下落によって圧迫される畜産経営について	P.19
すずき としひろ 議員 鈴木 利博	1. 小中学校におけるプール 2. 移動設置型トイレを 3. スカイツリー建設を	P.20



議員 中村 三恵子

災害時応急仮設住宅の考えは

協定内容を精査し締結を進める(町長)

問 災害時の応急仮設住宅に、移動式木造住宅ムービングハウスというものがあ
答 町長 平時使用しているものを仮設住宅への転用は考えにくい。平時使用については、災害発生時の仮設住宅使用後に検討する。

問 『空き家の管理・活用』のため、空き家課題にワンストップで対応可能な体制を官民で構築する(「空き家管理活用支援法人」)の指定について、当町の取り組みを伺う。
答 町長 総合的窓口として必要である。対応可能な法人の情報収集し協議するように努める。
問 空き公共施設等の利活用を目的に『地域再生計画』を描き、国の財政・金融的措置を得ながら具体的な活用方法を、住民の意見を聞きながら進めるべきでは。
答 町長 国の制度等も活用しながら検討していく。
問 年内には官民の連携で『二地域居住支援法人』の指定と、支援法人の活動に予算付けが可能となる。当町においても早期の指定を検討されてはどうか。
答 町長 県や隣接市町村の動向も踏まえ情報収集し、検討していく。

空き家対策について

認知症OPENロードの活用について

問 ご家族だけでなく町全体の理解を深め活用できるようにする取り組みが必要なのは。
答 保健福祉課長 その周知に力を入れてこれから進めていく。



▲工場で完成し現場に移動、迅速に設置。

水難事故防止の取り組みは

転落防止柵や看板設置などを実施(町長)

問 事故防止対策は、どのように講じているか。
答 町長 広報紙による啓発活動のほか、転落防止柵や大郷地区建設災害防止協議会の協力による立ち入り禁止看板の設置などを行っている。
問 県は補助事業として対策工事の4割を支援し、対策が必要な市町村に工事を促している。当町に該当するため池はあるのか。
答 地域整備課長 該当するため池は町内に存在するため池全てと認識している。382のため池の中で、小学校から半径2キロの範囲にある19のため池に対し、積極的に補助事業を活用しながら点検を実施していく方向で考えている。

問 小中学校において、どのような事故防止教育を実施しているか。
答 教育長 小中学校では、夏休み前の全校集会や学級活動で注意喚起をしており、保護者に対しては学校だよりを通して周知徹底を行っている。
問 空きペットボトルを活用した簡易救命代用器具を作成し、ため池等に設置する取り組みを提案するが町の考えは。
答 町長 大変素晴らしいものであると思う。自主防災組織や防災士等の協力をいただきながら、各地区において作成し、いざという時に活用できるよう普及・啓発に努めていく。

問 事前調査によると、海難救助のプロフェッショナルである海上保安庁の隊員が、無償で着衣泳の指導をしてくれるとのこと。活用してはどうか。
答 学校教育課長 教員の指導には限界があるので、そういったところも活用しながら検討していきたい。



▲いざという時「浮くっちゃボトル」



議員 金須 新一

一般質問

一般質問



議員 和夫 佐々木

家庭ごみ対策は

環境整備事業補助制度の活用を(町長)

問 集積所の鳥獣対策としてネットを設置する場合の支援対策および強風・豪雨時の事故防止対策は。

答 町長 維持管理に必要な集積箱の購入や補修費用について、地区の負担なしの環境整備事業補助制度がある。強風による飛散を防ぐため重量のある鉄製の蓋を採用している。

問 家庭用生ごみ処理機購入補助金制度の普及向上のため周知活動が図られているが、今年度の推進および収集量の削減の方策は。

答 町長 広報紙やホームページでの掲載、衛生組合長からのごみ排出量のPRを行っており、令和5年度は2件の実績、家庭ごみの分別の徹底・リサイクルを推進し、ごみ排出量の削減を図っていく。

民間企業活用による宅地造成について

問 本町の魅力ある情報発信を不動産会社や民間企業に対してどのように行っているのか。

答 町長 おおさとスマートスポーツパーク構想の推進と併せ、情報を整理し、効果的な情報発信に努めていく。

一般質問

問 宅地造成を希望する不動産会社や民間企業に対して、独自のバックアップを行ってはどうか。

答 町長 宅地造成する事業者に支援制度はないが、今後、支援を検討しながら住宅用地の確保を推進していく。

問 定住促進を図るための推進本部を立ち上げ、医療・教育・住環境の整備などスピード感を持って取り組んでいく必要があるのでは。

答 町長 庁内で連携調整を図る横断的な会議体制において定住促進に向けた対策を協議していく。



▲整理整頓されている大郷町内のごみ集積所



議員 暁史 鎌田

「SSP構想」事業化可否の判断は

停止と理解していただきたい(町長)

問 河道掘削土に関して7月末までに国との協議を行う件は。

答 町長 7月臨時議会での予算の否決を受け、再度国との調整を図った。掘削が令和7年度末まで行われることを確認し、町が必要とする土量が確保できるものと判断した。

問 事業化可否の判断は。

答 町長 議会に2回も提案して否決となり、先に進めない状況で、停止と理解していただきたい。

問 住民投票を実施する法的根拠と予算は。

答 町長 住民投票条例(案)を上程している。関連予算について補正予算を計上し、議会に付議している。

女川原発の再稼働

問 見解は。

答 町長 令和2年11月の市町村長会議での意見で、立地自治体である女川町長、石巻市長および宮城県知事に判断を委ねることとしており、本町でも同様と考える。

問 事故が発生した場合の避難計画は。

答 町長 原発から30キロ圏に本町は含まれていないことから、避難計画は策定していない。

問 使用済燃料乾式貯蔵施設の設置に関わる説明会の開催を県に要求すべきでは。

答 町長 立地自治体である女川町長、石巻市長および宮城県知事に判断を委ねる。

一般質問

問 福島でのSSP構想についての見解は。

答 町長 詳細は未定とのことであるが、おおさとSSP事業との連動について検討していくと聞いており、今後の動向を注視している。

男女共同参画社会の実現に向けて

問 町職員の男性の給与に対する女性の給与の割合はどのような傾向か。

答 町長 令和5年度が88・2%、令和6年度は89・7%となり、差異は改善傾向にあると思われる。

問 町職員の女性管理職の実態と見通しは。

答 町長 女性管理職は現在いない。課長補佐相当職の職員24名中、12名が女性である。女性管理職の登用についても総合的かつ計画的に進めていきたい。

問 行政区、PTA、老人クラブ等の団体で女性リーダーを育成する施策は。

答 町長 各種講座や研修、ワークショップへの参加等を通じて、女性人材の育成・確保に努めていきたい。



▲事業化可否の判断を(中粕川地区)



あか ま 議員
赤間 繁幸

厳しい経営状況の畜産農家への支援を

全身全霊で前向きに取り組む(町長)

問 畜産業を支えている担い手の方々が、飼料価格の高騰と販売価格の下落の二重苦で苦しんでいる状況に対して、町の所感を伺う。

答 町長 取引価格の低迷と飼料代の高騰により、畜産農家の経営は逼迫している状況と認識している。町として、JA等と連携し、国、県に財源的な予算処置と支援策の拡充を強く要望していく。

問 畜産農家に対する支援策を伺う。

答 町長 令和4年は34軒で1701頭に対し1109万9千円、令和5年は1602頭に対し325万円の支援をしている。

問 本年は昨年より大変厳しい状況になっている。町では子牛一頭当たりの生産費を把握しているか。

答 町長 令和4年度と令和5年度で子牛の平均取引価格につきましては、約11万4千円ほど下落している。また、肥育牛の販売価格は平均で140万円から150万円ぐらいで昔から比べれば低いと把握している。

問 「必要なときはしっかりと補正を行う」と答弁いただいたているが、まさに今がその時と考える。12月の定例会には補正を組んでいただき、補助金を出していただきたい。

答 町長 一次産業、畜産の分野を応援できる範囲で頑張る。令和7年度の当初予算にその辺を十分考慮した予算編成を議論していく。また、12月の定例会までに何らかの支援策を講じたいと考え、国、県、町と三位一体になって、効果的な支援ができればというふうには思っている。

問 一頭当たり数千円の支援策であるが、今が苦しい畜産農家の方々に支えていく姿勢が大事と考えるが、12月に何とか補助金を出していただけないか、もう一度伺う。

答 町長 そのように全身全霊で、前向きに取り組む。



▲月に3日間開催しています(家畜市場)

クーリングシェルターの運用は

指定の施設を一般開放する(町長)

問 クーリングシェルターは「熱中症特別警戒アラート」発表時のみ利用可能なのか伺う。

答 町長 公共施設は業務時間内であれば、アラート発表時に限らず利用できる。民間施設は、指定にあたって協定を締結しており、暑熱を避けるための滞在場所として一般開放に努めている。

問 本町の公共施設の空調設備の点検は毎年、全施設で行っているのか伺う。

答 財政課長 定格出力に応じて、点検の方法、回数等が定められており、それに基づいて実施している。

問 災害時などに避難所として利用できる味明地区のふれあいセンター21の多目的ホール、和室にまだエアコンが設置されていない。

答 町長 返礼品提供事業者、返礼品の選定等を委託する支援事業者、町の三者で意見交換し、現返礼品の磨き上げを行い、常に町内の情報を収集している。

問 返礼品の発送作業は、返礼品提供事業者に一任する形となっているのか伺う。

答 町長 寄付があり次第、支援事業者から返礼品提供事業者へ連絡を行い、返礼品提供事業者が指定日まで

問 新たな魅力ある返礼品の開発に取り組むべきと考えるが。

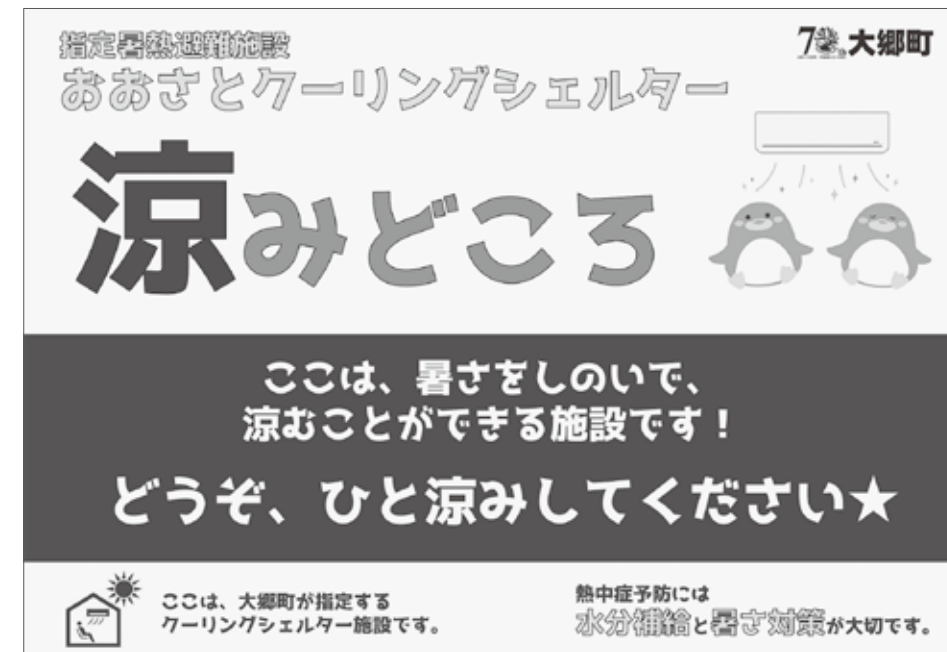
答 町長 それぞれの家庭の状況により必要な家電を購入いただければと考える。助成の考えはない。

問 町民に対して、エアコン購入費用の一部を助成する考えはないのか伺う。

答 町長 それぞれの家庭の状況により必要な家電を購入いただければと考える。助成の考えはない。

ふるさと納税について

問 農政商工課長 今後は避難所ということもあり、避難者の方々が休める場所という事になるので、財源も含めて、相談している。



▲クーリングシェルターの案内表示

箱詰めし、支援事業者の手配で集荷・発送する仕組みになっている。

問 町でデザインした返礼品発送用の統一した段ボール箱を作成する考えは。

答 財政課長 今年度頑張っているところと納税を増やして、使える経費が増えれば、そのような事もやりたいと思う。

SSP事業費を反対多数で否決

討論

原案賛成

金須新一 議員

この事業を推進しないのであれば、議会の資質を問われると考える。

原案賛成

田中三恵子 議員

成功するかどうか分からないから踏み出さず、諦める、それでは何も生み出せない。

【議案第40号】一般会計補正予算（第4号）

SSP計画地の地質調査および基本設計等の業務委託料5423万円と同構想計画地の土地購入費1億1860万円を追加する補正予算を賛成5、反対6の反対多数により否決した。

問 町の負担、総事業費はいくらになるのか。

答 今後、測量や設計業務をしていく中で概算が出てくる。

問 SSP構想に予算が配分されて、町民の不利益にならないか懸念する。

答 厳しい財政状況であるが、町民の皆様にご迷惑をおかけしないような財政的な運営をしていきたい。実行委員会を経由した発注を最終的に寄付を行った企業が受ける疑念がある。

問 現実的にそのようなことはないかと考える。実行委員会を経由した事業でも、競争の入札等の手続きを経て事業者が決まるものと思っている。

議案採決結果一覧表

分類	議案名 (略称)	採決結果	赤間繁幸	鎌田曉史	鈴木利博	赤間則幸	佐々木和夫	鈴木恵子	金須新一	田中三恵子	熱海文義	石垣正博	高橋重信	石川良彦
第5回臨時会	議案第40号 一般会計補正予算（第4号）62億6582万円（1億7283万円↑）	否	○	●	●	○	○	●	○	○	●	●	●	-

（↑）は増額、（↓）は減額

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 継続：継続審査 退：退席 欠：欠席

※賛否同数でない限り、議長（石川良彦）は採決に加わらない。

議会の主な動き（7/1～9/30）

月 日	用 務	月 日	用 務
7/1	合併 70 周年・町制施行 65 周年建町記念式典	8/9	宮城県町村議会議員セミナー〔加美町〕
7/2	黒川地域行政事務組合議会運営協議会・臨時会〔大和町〕		総務産業常任委員会
7/8	広報広聴常任委員会	8/19	後期高齢者医療広域連合議会定例会〔仙台市〕
7/9	宮城黒川地方町村議会事務局長会議〔仙台市〕	8/20	戦没者忠霊碑参拝
	仙台北部道路建設促進期成同盟会総会〔仙台市〕	8/21	黒川地域行政事務組合議会運営協議会・臨時会〔大和町〕
7/10	令和 6 年度大郷町ドローン活用推進協議会総会	8/22	議員全員協議会・議会運営委員会
	黒川地方市町村議会連絡協議会総会〔大衡村〕	8/28	議会運営委員会
	おおさと地域振興公社に関する調査特別委員会	9/3	秋の交通安全県民総ぐるみ運動大郷町拡大会議
7/11	東北地方北方領土返還要求県民フォーラム・宮城県会議総会	9/4～20	第 3 回定例会
7/16～17	おおさとスマートスポーツパーク構想に関する調査特別委員会視察〔静岡県藤枝市〕	9/7	町制施行 70 周年第 41 回ふながた若鮎まつり
7/18	宮城黒川地方町村議会議長会定例会議〔仙台市〕	9/16	敬老会
7/18～19	宮城県町村議会議長会議講座〔仙台市〕	9/20	秋の交通安全運動大郷町開会式
7/23	SSP 事業大松沢地区区長要望活動対応	9/22	陸上自衛隊東北方面創隊 64 周年記念式典〔仙台市〕
7/24	議員全員協議会・おおさとスマートスポーツパーク構想に関する調査特別委員会	9/24	黒川行政事務組合議会運営委員会〔大和町〕
7/26	第 5 回臨時議会	9/25	全国町村議会広報研修会〔東京都〕
7/29	吉田川流域溜池大和町外 3 市 3 ケ町村組合議会定例会〔大和町〕	9/26	宮城県中ブロックグラウンド・ゴルフ 2・3 級普及指導員研修交歓大郷大会
7/31	仙台都市圏自動車専用道路整備促進期成会総会〔仙台市〕		広報広聴常任委員会
8/1～2	宮城黒川地方町村議会議長会正副議長並びに事務局長合同視察研修〔山形県河北町・村山市〕		交通安全ゲートボール大会
8/5	後期高齢者医療広域連合議会全員協議会〔仙台市〕	9/27	少年の主張宮城県大会
8/8	黒川行政事務組合議会運営委員会〔大和町〕	9/29	大和駐屯地創立 68 周年記念式典〔大和町〕

スカイツリー建設を現実的ではない（町長）

問 東京スカイツリーが開業してから10年が経過し、経済効果は約7813億円となっている。東京スカイツリー以北で次のタワーがあるのが、函館市の五稜郭であり、これらの中間地点が大郷町である。

答 町長 新タワー構想では、在京6社のテレビ局が600m級の電波塔を求め発足した。建設費は400億円、総事業費650億円。収益は、テレビ局からの賃貸借料として、年間20～30



▲持続可能な町づくりを



議員 鈴木 利博

億円および観光客からの入場料となっている。日本の首都、東京に位置し、経済・観光など、全ての中心にある。絶対的に人が集中する場所だからほかならない。宮城県または東北地方において、電波塔が求められている実態はなく、商業施設だけでは、これほどの集客は難しいと考える。その後の経済効果があったとしても町の財政的に実現可能な建設費ではない。

一般質問

プールの暑さ対策

問 近年、プールを使用する時期になると高温多湿が年々懸念される。プールに屋根を設置するなどの対策が急務ではないか。

答 教育長 屋根のあるB&G海洋センタープールの利用を勧めている。プールへの屋根設置については、今度検討していきたいと考えている。

移動型トイレを

問 利府町では、トイレトレーラーではなく、トイレカーを2台取得し、現在、石川県能登町に貸し出しをしている。令和3年に取得し、今のところ災害での利用状況ないものの、イベント等での利用で活躍しているようだ。取得したきっかけは、コロナ時の補助金100%を利用し取得したとのこと。町の考えを伺う。

答 町長 トイレトレーラー等の購入の予定はない。

追跡リポート



旧田布施・東沢団地 解体後の土地利用は

これまでの意見・提言等

- ・議会広報198号
予算審査特別委員会徹底検証より
- ・議会広報204号
決算審査特別委員会意見提言より
- ・議会広報206号 追跡リポートより

町で管理する側溝や水路の管理用通路等の分筆測量、および登記完了後に定住促進用地、または企業誘致用地として公売する予定。
(議会広報210号 追跡リポートより)

その後の対応と今後の計画

旧東沢団地跡地については、現在も先着順の随意契約として本町のホームページに掲載し、募集をしております。しかし、進入路の狭さや大雨時に浸水の恐れがあることから問い合わせはないため、現状のままとっております。

進入路の拡幅や浸水対策に多額の経費がかかるため、周辺環境の整備も含めて有効活用へつながるよう引き続き検討してまいります。
財政課



▲有効活用を (旧東沢団地)

空き家等の環境整備対策を

これまでの意見・提言等

- ・議会広報187号 追跡リポートより
- ・議会広報211号 一般質問より

民間企業と連携し、空き家対策していく。
(議会広報211号 一般質問より)

その後の対応と今後の計画

これまで町では空き家対策として、空き地空き家バンクの運用、空き家対策セミナーや広報紙等による空き家関係情報の周知、空き家家財道具等処分費用の助成等実施してきたところです。特に空き地空き家バンクについては、平成28年度に創設してから8年が経過し、これまで77件の登録があり、そのうち空き家の登録が34件で、23件が成約、利活用されています。また、今年3月には、これまで調査してきた空き家台帳をもとに、空き家の可能性のある住宅所有者に対して、今後の活用等についてアンケート調査を実施しました。

今後、このアンケートの結果に基づき、空き家バンクへの登録や不動産会社の紹介、空き家セミナーのご案内等実施するなど、民間企業との連携も図りながら空き家対策に努めてまいります。
まちづくり政策課



▲空き家セミナー (ふれあいセンター)

教育民生 常任委員会

6/24
26~27

教育環境の現状は



▲美浜町にて研修

【調査の概要】

6月24日(月) 本町における教育環境について調査する。6月26日(水) 富山県入善町、27日(木) 福井県美浜町に赴き、教育環境の現状を調査した。

【意見】

1. 小学校における英語教育の取り組みについて
入善町は、令和2年度から完全実施された小学校の新指導要領に対応するためALT (外国語学指導助手) を令和元年度から2名から3名に増員している。また美浜町では、2名のALTをフルタイム配置し有効活用している。当町では、大郷中学校と兼務しているALT1名を配置している。
今後は専属配置も検討する等、ALTを最大限に活用し、児童に英語への興味・関心を持たせることで、英語学習に係る中学校への円滑な移行を図られたい。
2. 小中学校における学力・体力向上の取り組みについて
 - ①児童が楽しみながら、運動(遊び)に取り組めるよう始業前、業間、昼休み、放課後の時間確保や下級生、上級生異年齢集団での取り組みによる「遊ぶ雰囲気づくり」などを推進されたい。
 - ②全国体力・運動能力調査結果を踏まえ学校全体で目標および取り組みを検討し、体育や保健体育の授業内容を改善する等、運動部だけでなく文化部においても生徒が積極的に運動に係れる環境を構築されたい。
 - ③全国学力・学習状況調査結果を踏まえ児童・生徒の学力を見極め、入善町で採用している総合質問調査(i-checkアイチェック)を導入する等、個々の最適な学習指導を実施し、今後は全国学力・学習状況調査前から独自の学力調査を取り入れている美浜町を参考に、大郷町独自の学力調査を実施することも検討するよう学力強化を図られたい。

次回は

「年金・医療保険について」
を調査します。

総務産業 常任委員会

8/9

公共施設の取り組み



▲パストラル緑の郷にて

【調査の概要】

令和6年8月9日(金)、パストラル緑の郷、物産館、開発センターにおいて農政商工課長から、また、フラップ大郷21において社会教育課長から、公共施設の管理運営について説明を受け調査した。

【意見】

1. パストラル緑の郷
コワーキングスペース・研修室は、予想以上に良い仕上がりであり、これからの新しい活用方法にとっても期待がもてた。町民の皆様に広く利用していただけるよう、適正な料金を検討されたい。
また、サテライトオフィスは、宿泊施設と同じ動線にあり違和感を覚えた。賃料についても若干高いと思われるので検討されたい。
2. 開発センター
利活用されていないスペースが多すぎる。加工施設などの機械等を再考し有効活用に努められたい。
3. 物産館
2階和室部分が利用されておらず、テナント等の有効活用を検討されたい。
4. フラップ大郷21
事務室がトヨタ自動車東日本株式会社ハンドボール部の荷物置き場となっている。早急に事務室として活用できるように対応されたい。
最後に、農政商工課は、農政と商工が一つの課となっている。業務量も増えてきていることを鑑みると、農政は農政、商工は商工として、独立すべきと考える。

次回は

「産業振興について」
を調査します。



しもがき みつあき
下垣 光明 さん
(上町)

地域の一員として…

大郷町に来てから2年が経ちました。引越してから今まで、地域の事、日常の事で近所の方には大変よくしていただいています。この場を借りてお礼申し上げます。

ご近所の方とお話する中で、大郷に引越してきた理由をよく聞かれます。私の家は自然が多く、のどかな所だったため、そんな環境で暮らしたいと考えていました。そこで大郷町を見つけたのです。住んでみて、やはり大郷で良かったと日々感じています。

大郷町の良い点は、自然が素晴らしいこととはもちろんですが、住んでいる人達が気さくで親切な方が多い点だと思います。自然が豊かな所は他にもありますが、自然も人も良い所はなかなかないのではないのでしょうか。

新参者ではありますが、地域の一員として自分にできることをやっていきたいと思っています。まだまだ下手くそですが、まずは地域の草刈りから頑張りたいです。

宮城県町村議会議員セミナー

8/9 「地方議会におけるハラスメント防止対策」

場所：中新田文化会館
(中新田バッハホール) [加美町]



町村議会議員講座(県自治会館)

7/18 「議会活性化について」
法政大学大学院教授 白鳥 浩氏

7/19 「これからの町村議会のあり方」
関東学院大学法学部地域創生学科教授
牧瀬 稔氏



視察を受けいれました

**10/3 群馬県吉岡町議会
議会運営委員会**

視察内容 議会改革および議会基本条例について



編集後記

今年の夏も厳しい猛暑日が続き体調の管理が大変だったと思いますが、昔から暑さ寒さも彼岸までといったように、ようやく涼しさが感じられる季節になってきました。また、収穫の秋を迎え、食卓には、新米をはじめ、よりとりどりの地場産品が並ぶ時期がやってきました。私たち広報委員会では、町民の皆さまから必要とされる広報紙をお手元へ届けられるように取り組んでまいりますので、よろしく願います。
赤間 則幸

**広報広聴
常任委員会**

委員長

副委員長

委員

高橋 重信

石垣 正博

鎌田 暁史

鈴木 利博

赤間 則幸

金須 新一